

第22回症例検討会 研修会報告

日 時	2026年2月8日(日) 10:00~12:30
場 所	神戸薬科大学 地域連携サテライトセンター
テ ー マ	SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による症例検討 薬剤師のACPことはじめ ～はじめてのACP(アドバンス・ケア・プランニング) ・人生会議～
講 師	神戸薬科大学 エクステンションセンター 講師 鎌尾 まや 先生 京都府薬剤師会 理事・クルミ薬局2号店 二村 直行 先生
受講者数	16名(内、本学学生7名、見学者1名)
認定単位	1.5単位

【研修風景】



コーディネーター
千里プラス薬局
富永 由美 先生



コーディネーター
大阪医科薬科大学
安井 友佳子 先生



コーディネーター
バプテスト老人保健施設
東原 和美 先生

【内容】

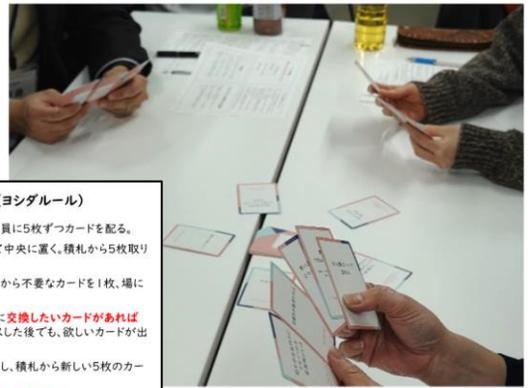
第1部 ゲームでACPを理解しよう



神戸薬科大学
エクステンションセンター 講師
鎌尾 まや 先生

4名ずつのグループに分かれ、もしバナゲームを実施しました。

ゲームを通じ、人生の最期にどう在りたいかなどの価値観を共有しました。



ゲームの進め方(ヨシダルール)

- ①ワイルドカードを除く35枚から、全員に5枚ずつカードを配る。
- ②残りのカードは積札として裏返して中央に置く。積札から5枚取り出し、表に向けて場に並べる。
- ③1周目:一人ずつ順番に手札の中から不要なカードを1枚、場に置かれたカードと必ず交換する。
- ④2周目以降:順番が回ってきた時に交換したいカードがあれば交換、なければパスする。一度パスした後も、欲しいカードが出てきた場合は再度交換できる。
- ⑤全員がパスした時点でカードを渡し、積札から新しい5枚のカードをめぐって場に並べる。
- ⑥③~⑤を繰り返し(1周目は必ずカードを交換しなければなりません)、場のカードがなくなったら終了。
- ⑦手元の5枚から特に大切な3枚を選び、選んだ理由を考える

第2部 症例を通じてACPを理解しよう



京都府薬剤師会 理事、
クルミ薬局2号店
二村 直行 先生



5名ずつのグループに分かれ、症例を元に患者さんの背景などを想像し、薬剤師としてどのように関わっていただけるかを話し合いました。

アンケート(抜粋)

- ◆ACPについてあまりしらず、勉強になりました。
- ◆在宅看取りを実施する上で、PCAポンプを使用していくことが非常に重要と感じました。
まだまだスキルや設備面で課題がありますが、広めていくべき課題と感じます。
- ◆もしバナゲームをしたのは2回目で、配られるカードが前回と違ったため、結果が異なった。何度か繰り返してみたり、自分の年齢や環境によって考え方や結果が変わるのだなと思う。
症例検討会では薬剤師、薬学生のためのグループワークだったが、やはり他(多)職種と連携することが患者さんのためにつながることを再確認できた。
- ◆ACPのゲームでは、その人の人生観、価値観によって大切にすることが違っていることに気づいた。
今の自分と20年、30年後の自分では、価値観に変化があるのではないかと思った。
- ◆薬剤師の方がACPを取り組むことで、少しでも本人や家族の意向に沿えればと思います。そのためにも薬剤師が地域に出て、他の職種の人と関わりを持ってほしい。

神戸では珍しく雪の舞う寒い日でしたが、欠席もなく開催することができました。



ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University



神戸薬科大学
エクステンションセンター